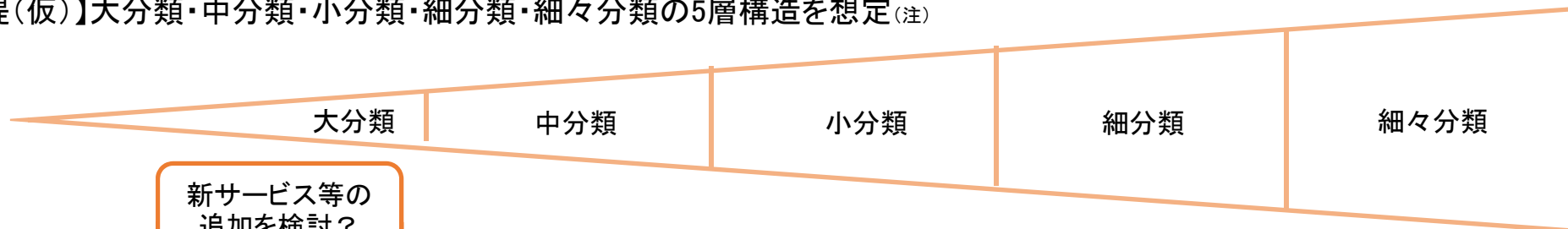


分類原案の作成方法について(素案)

- (注)1 以下は、事務局が本研究会に提出する個別分野の分類原案を作成するための方法の素案を示すもの。
- 2 <1>はNAPCSを参考に作成する場合、<2>はCPAを参考に作成する場合の作成方法の素案を示す。

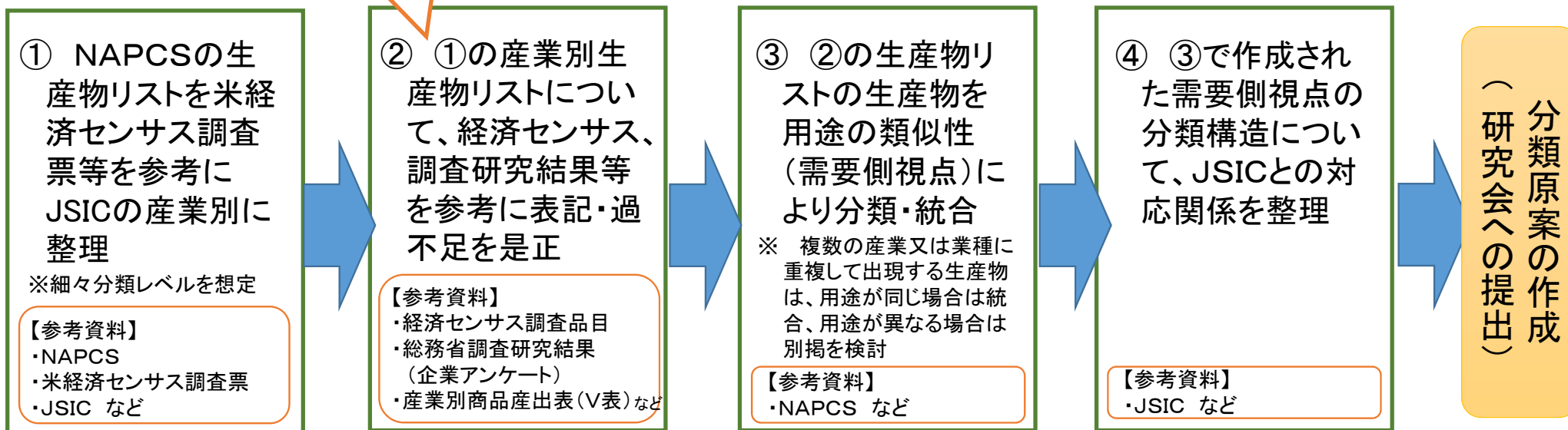
<1> 産業分類から独立して生産物分類を作成する場合 (NAPCSを参考に作成)

【前提(仮)】大分類・中分類・小分類・細分類・細々分類の5層構造を想定(注)



新サービス等の追加を検討?

(注) 上記の分類構成は仮の前提であり、今後、研究会において検討を行うもの。

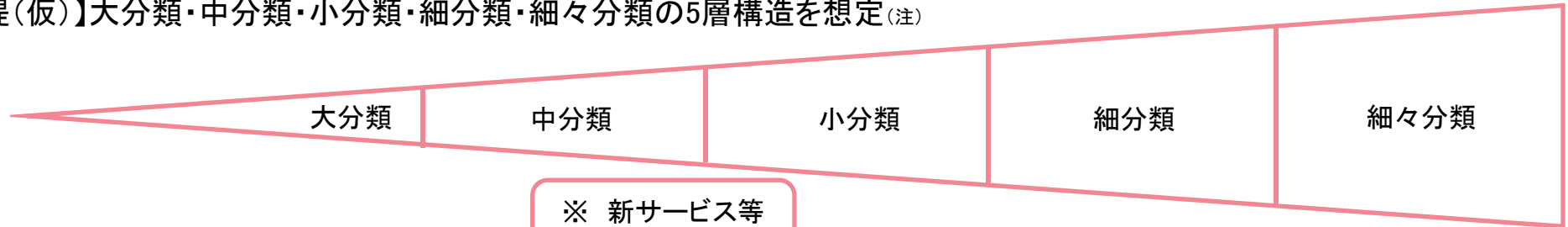


要検討

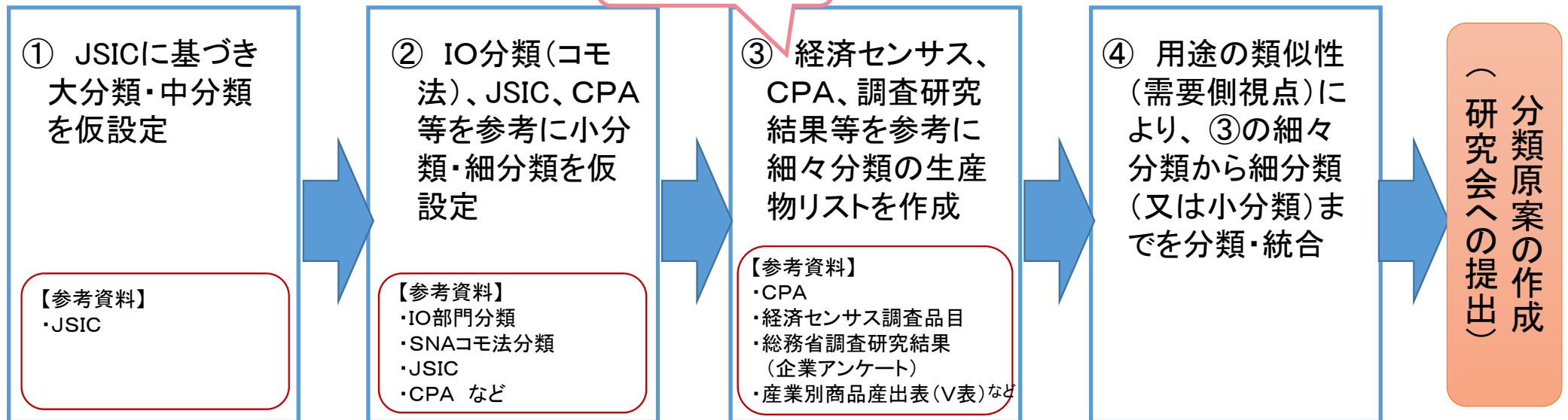
- 現状、産業別に個別分野の検討を行うことを想定しているため、①のようにNAPCSの生産物リストをJSICの産業別に整理する作業が発生。また、NAPCSの構造は産業分類の構造と大きく異なるので、基礎統計への活用を図るため、JSICとの対応表の作成などについても要検討。
- また、IO(SUT)部門分類、SNAコモ法分類との整合・対応方法についても要検討。

<2> 産業分類とリンクした生産物分類を作成する場合 (CPAを参考に作成)

【前提(仮)】大分類・中分類・小分類・細分類・細々分類の5層構造を想定(注)



(注) 上記の分類構成は仮の前提であり、今後、研究会において検討を行うもの。



要検討

- 上位分類はJSICに基づき供給概念で構築する一方、下位分類は需要概念で分類・統合することを想定しているが、実際にそのような分類構造の構築が可能か検証が必要(小分類又は細分類が両者をつなぐ架け橋のようなものになり得るか)。
- CPAは、原則、1つの生産物が1つの産業にリンクしているが、各産業から産出される副業の生産物をどう取り扱うか。